

一人は万人のために
万人は一人のために

No. 500

2015.2.FEB

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2015年1月21日現在)生協組合員…6万2401人 出資金…15億5020万円

みんなの医療

事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぼぼ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
(ケアマネジャー・訪問介護)
訪問看護ステーションながの
つるがりハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

手配りであつなぐ地域の絆

長野県神城断層地震の教訓から、第二支部支部長 谷口 芳雄

配布は
楽ではないけれど

第二支部の組合員は約2600人、「みんなの医療」配布数2500部、手配り率は94%、配布者は

170人にも達しています。毎月、新規・変更、配布ルートの決定等の処理をし、10人を超す運営委員が会議前に



上部が落ちた善光寺の灯籠

神城断層地震、その時地域では

昨年11月の神城断層を震源とする地震では、第二支部の箱清水や上松の組合員も大きな被害を受けました。

配布ルートを助け合いのネットワークへ
時間が経過し、今、冷静に振り返ることができるようになりました。「暗い中、声をかけてもらっただけで生き返った感じがした」と言ったお年寄り。もし、あの時支部が一人暮らしや介護世帯、身体の不自由な方といった組合員の状況を体系的に把握できていたら、もつと何かできていたのではないかと。

医療生協は「みんなの医療」の配布という太い動脈が通じています。その血管に温かい血液を送り、助け合い・支えあいのネットワークを作ることが支部の本来の役割かな、と思うこの頃です。

おかげさまで500号!!

機関紙『みんなの医療』が『診療所だより』創刊号から数えて500号となりました。現在、3300人を超える配布者により約3万4千人に手配りされています。先輩諸氏が築きあげてきた粘り強い活動を大事に、組合員に親しまれる機関紙としていっそう努力したいと思います。500号を記念し、地域の中での「みんなの医療」の役割について、第二支部の谷口芳雄支部長に手記を寄せていただきました。

「みんなの医療」編集委員長 水本 悟



1962年7月18日発行 第1号



1980年2月15日発行 第100号



1990年1月1日発行 第200号



1998年6月発行 第300号



2006年10月発行 第400号



壁面が崩れた箱清水の食事処

待合室

戦後70年、平和憲法のもとで「集団的自衛権の行使はできない」としてきたものを、時の政府の解釈で行使できる、秘密保護法で国民の知る権利を奪う、社会保障はほとんど切り捨てる…こんな政治を、大多数の国民は望んでいません▼安倍自公政権は、2014年の年末、抜き打ち的に国会を解散し、総選挙を行いました。「消費税10%の1年半の延期アベノミクスの信を問う」と結果は、与党が326議席を獲得し、マスコミは圧勝と報道しました。しかし冷静に見ると、自民党は小選挙区制度のマジックを使っても3議席減らしていません▼いずれの世論調査でも「憲法改正」「集団的自衛権行使」「秘密保護法」「消費税増税」を、国民は支持していません。今ほど国民的大運動が求められている時はありません。総選挙で与党を全敗させた「オール沖縄」の教訓に学んだのは、私だけではないと思います。(G)